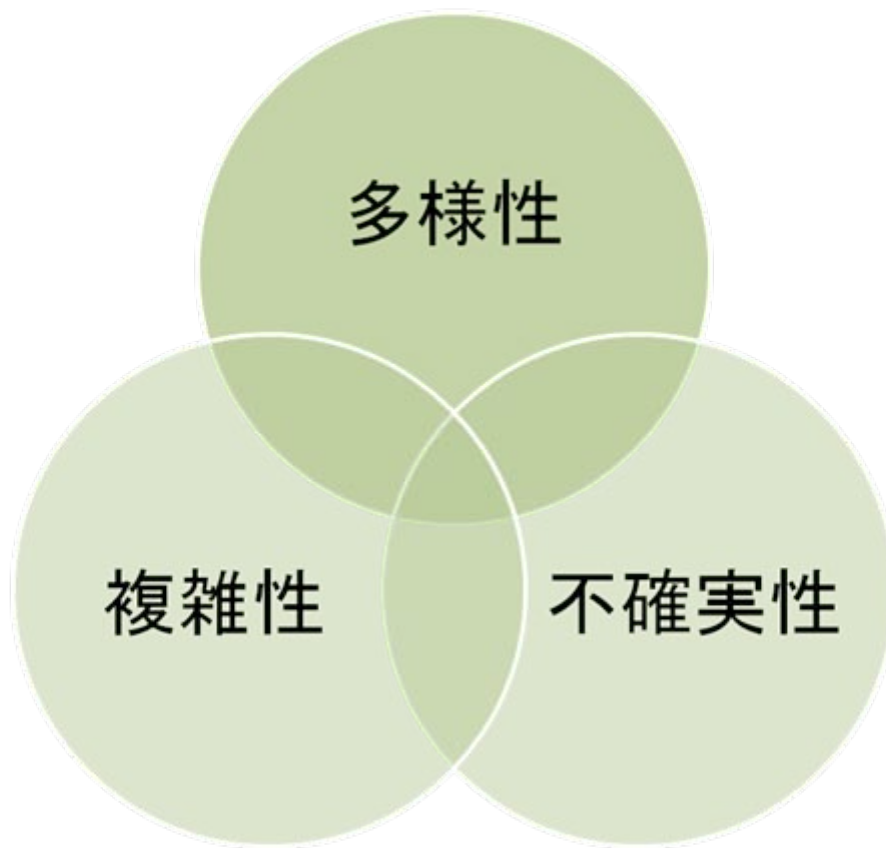


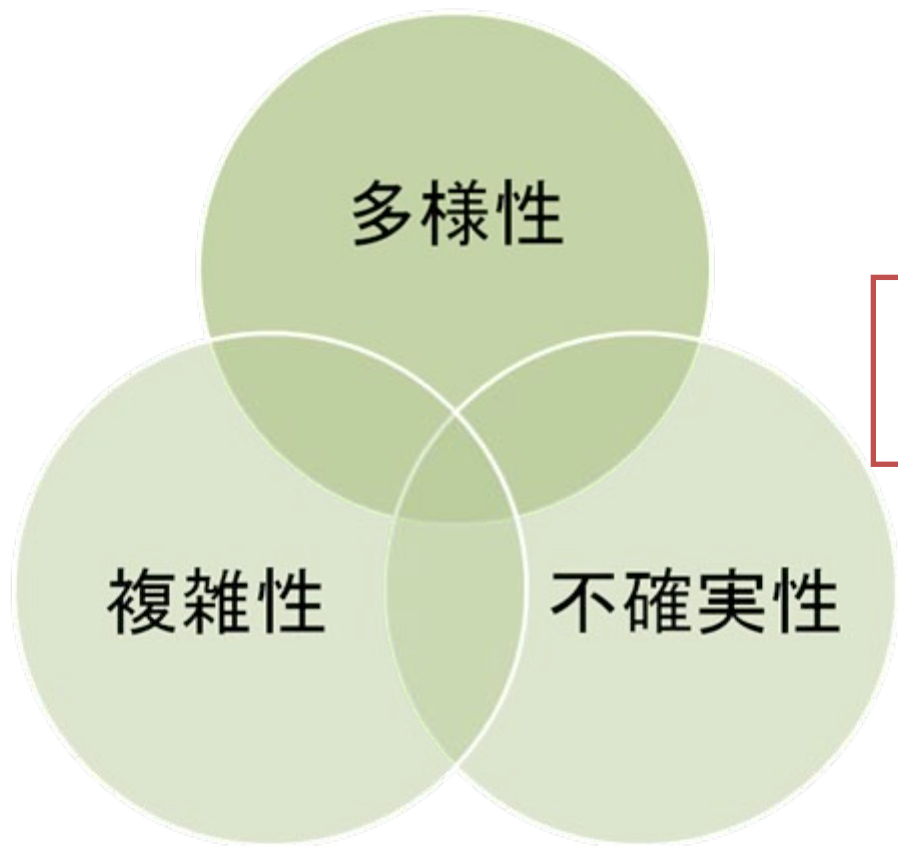
グローバル人材って？

子どもたちに明るい未来を Part I

## グローバル社会の特徴



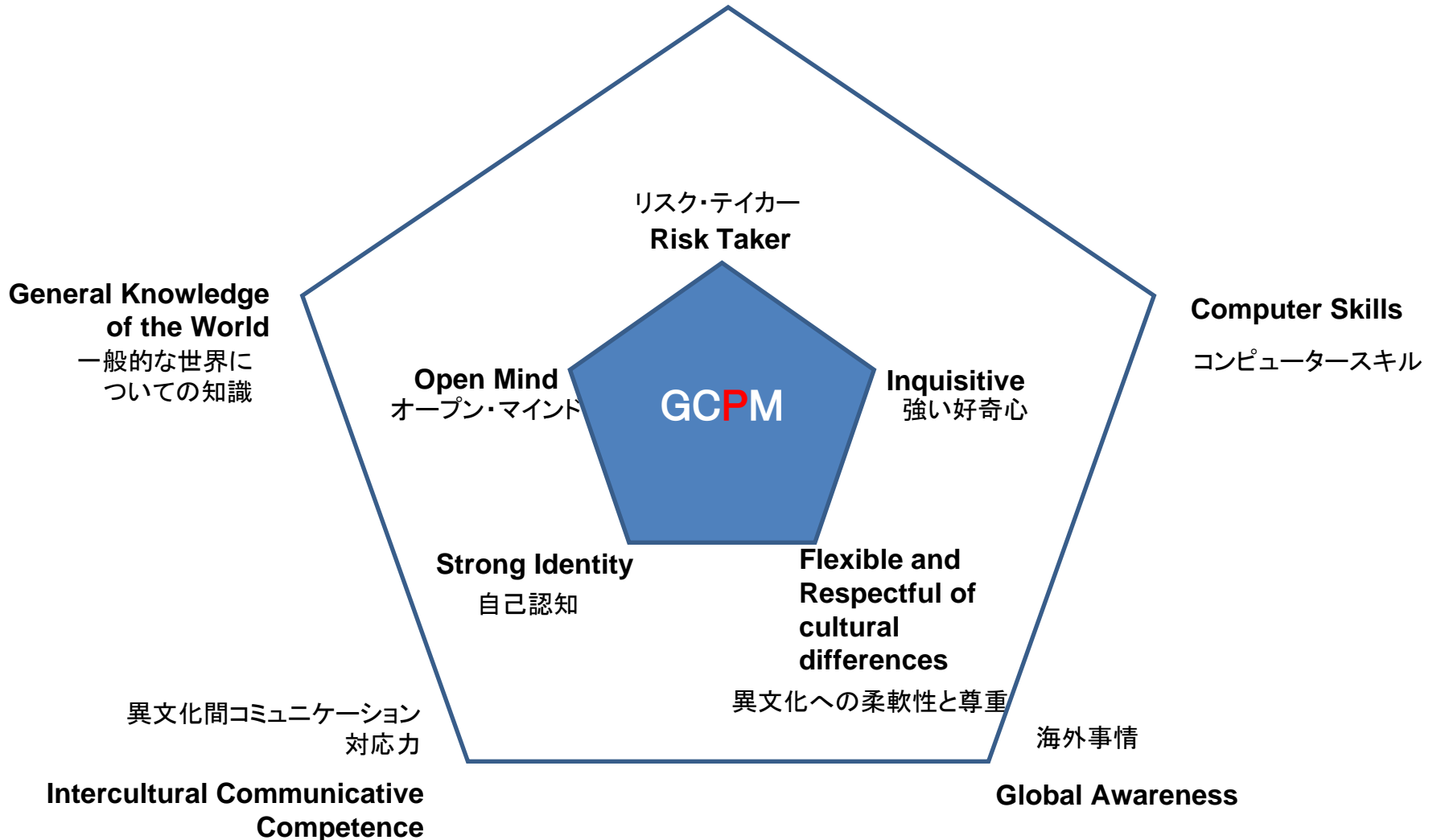
## グローバル社会の特徴



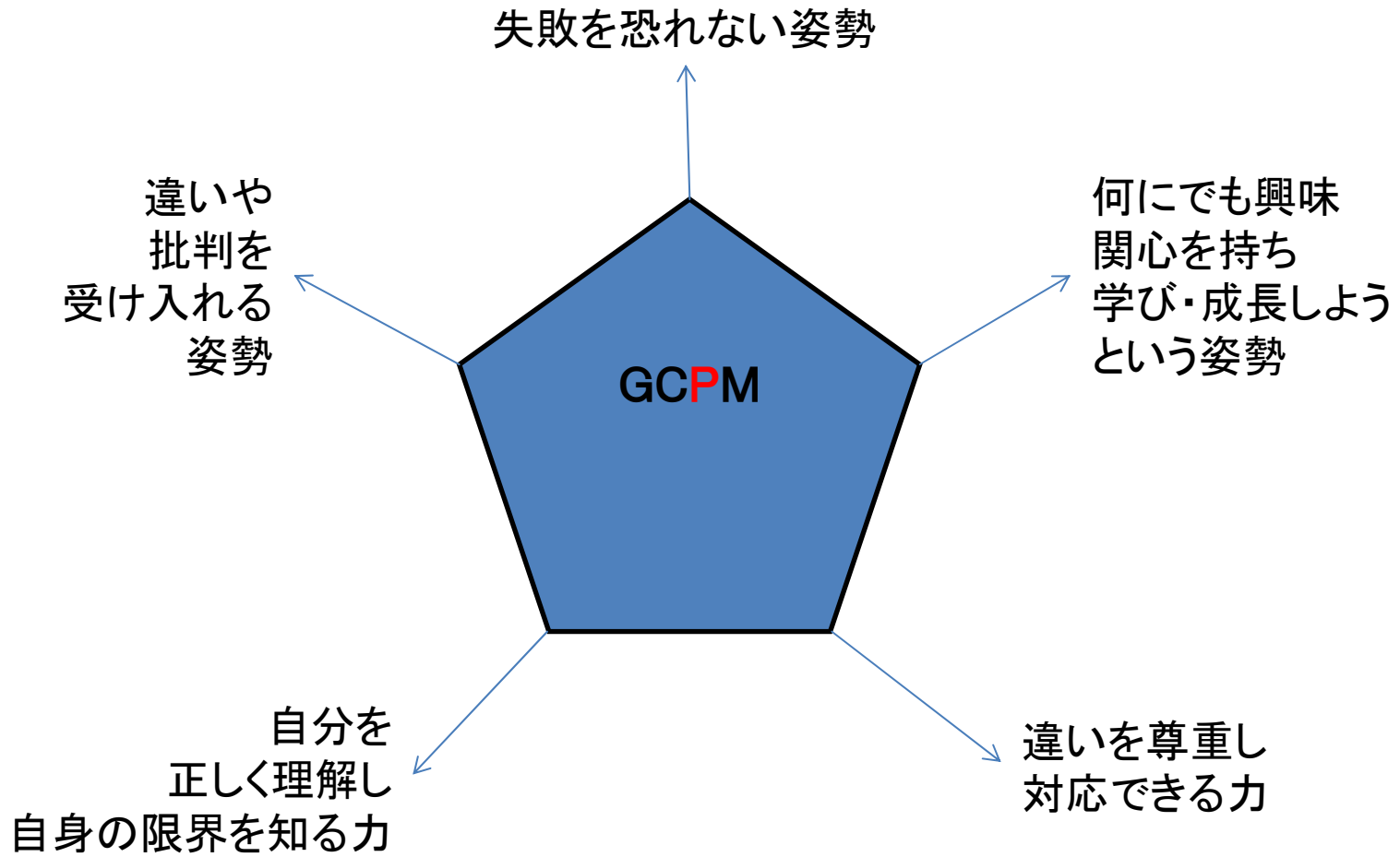
# 可能性

# Global Competence Profile Model

Language Skills 言語スキル



# Global Competence Profile Model



## 多様性

- 年齢・文化・思考・価値・性別・障害などの多様性の存在に気づく経験が与えられているか
- 画一的環境からは多様性への対応力は育たない

## 失敗を恐れ ない姿勢

- リスクを取ることを尊ぶ経験が与えられているか
- 挑戦して失敗しても、何もしない人より「遥かに」立派だと褒めて伸ばす

# 家庭で できる 英語ができる子育て

子どもたちに明るい未来を Part II

◎ Immersion

教えるのではなく使う状況から意味を理解し  
使えるようになる。 家庭生活の中で英語を織り交ぜる  
ことを通じた習得法  
実践のための参考図書  
「起きてから寝るまで英会話」シリーズ  
吉田 研作(上智大学)

◎ Phonics                      フォニックス

16の母音を習得することで音とつづりが分かる  
英語において、綴り字と発音との間に規則性を明示し、  
正しい読み方の学習を容易にさせる方法の一つ

◎ Listening

自然なスピードと音に慣れる

◎ Finite Fluency 定型表現で流暢に

36の定型文を長期に渡り使い続けることで、英語が  
自然に口をついて出てくるようにする。



Extras

# 「子どもたちにはグローバル対応力が必要」76.47%の親が「強く」感じていると回答 「必要」と感じている人を含めると91.18%

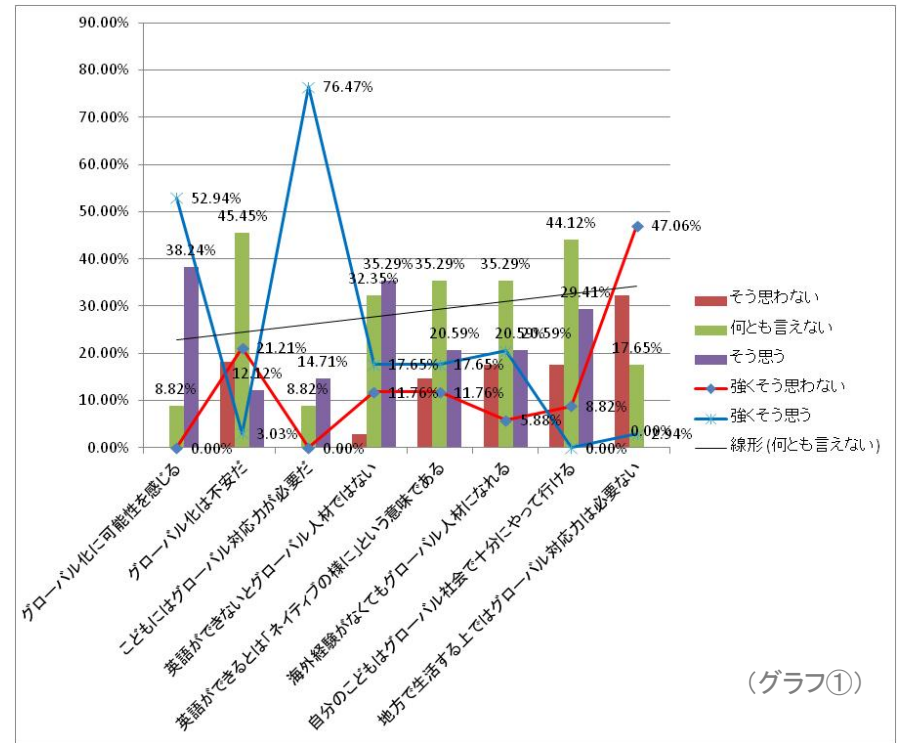
小学生から高校生までの子どもを持つほとんどの親が「子どもたちにはグローバル対応力が必要」(91.18%)と感じている。  
反面、自分の子どもがグローバル社会で間違いなくやって行ける自信を持つ親はなく、どうにかやって行けると感じている親が29.41%  
26.47%の親は不安感を持っており、グローバル化に可能性は感じているものの(91.18%)将来への不安が見て取れる。

そのようなこともあり、グローバル化に可能性を感じると同時に、比較的不安に感じている親が大半を占める(60.61%)。

英語がグローバル人材の基礎素養だと考える親が52.94% 　ただ必ずしもネイティブの様に話せる必要はなさそうだと感じている親が多いことも見て取れる。このことは海外経験がなくてもグローバル人材になれると感じている親が41.18%いることにも関係しているのかも知れない。

今回の調査は鹿児島市及び周辺地域在住者を対象としたものだが、都市部・地方部などの居住地区の差なく、グローバル対応力が広く人々に求められると大半の親が感じている(79.41%)ことも分かる。

次代を担う子どもたちのグローバル対応力を育成する手法の提供が必要とされる。



(グラフ①)

(表①)

質問	強くそう思わない	そう思わない	何とも言えない	そう思う	強くそう思う
① グローバル化に可能性を感じる	0.00%	0.00%	8.82%	38.24%	52.94%
② グローバル化は不安だ	21.21%	18.18%	45.45%	12.12%	3.03%
③ こどもにはグローバル対応力が必要だ	0.00%	0.00%	8.82%	14.71%	76.47%
④ 英語ができないとグローバル人材ではない	11.76%	2.94%	32.35%	35.29%	17.65%
⑤ 英語ができるとは「ネイティブの様に」という意味である	11.76%	14.71%	35.29%	20.59%	17.65%
⑥ 海外経験がなくてもグローバル人材になれる	5.88%	17.65%	35.29%	20.59%	20.59%
⑦ 自分のこどもはグローバル社会で十分にやって行ける	8.82%	17.65%	44.12%	29.41%	0.00%
⑧ 地方で生活する上ではグローバル対応力は必要ない	47.06%	32.35%	17.65%	0.00%	2.94%

2012.03.31-04.01

グローバル人材育成フェスタに約140名参加(鹿児島市)

3月31日と4月1日の2日間鹿児島市の志学館大学でJTB鹿児島支店主催の「グローバル人材育成フェスタ」が行われ、小学生から高校生までの訳100人とその保護者約40人が参加しました。

会場ではこどもたちが向けの英語・留学・文化体験ワークショップを11名のアメリカ人スタッフが運営。英語の楽しさと進路の可能性に触れました。

並行して保護者向けの「グローバル人材育成」と「家庭でできる英語ができる子育て」をテーマにしたセミナーが行われました。

フェスタの様子 [photo](#)

セミナーの様子 [photo](#)

セミナーで使用した資料 [PDF](#)

保護者向けの意識調査結果 [PDF](#)